

NY 銅は欧州指標の悪さを受け需要後退懸念で下落 LME は「バンクホリデー」の為、休場

7日入電のNY銅相場は0.35セント安の331.00セントと下落。欧州指標の悪さを受け需要後退懸念で下落して引けた。

NY銅在庫は減少も、8万6千トン台の高水準となっている。

なお、LME相場は「バンクホリデー」の為、休場。NYカーブは入電なし。

KLTM錫は65.8セント下落

採算値は2日比で7万4,000円高

KLTM錫は2日相場と比べ65.8セント安の61.003Mドルと下落。USDollarは350ドル高の2

万550ドルとなり出来高は32トン。Mドル/USドルレート=2.9685とTTSレート100.13円で換算した採算値は2日と比べ7万4,000円高の206万3,000円、諸掛込みの採算値も同7万4,000円高の222万3,000円となった。

なお、ゴールデンウィーク連休中の相場は下表の通り。

2013年GW連休中のKMTL相場

	3日	6日
マレー錫・Mドル	59.992	60.159
出来高・トン	25	25
USDollar	19.770	20.300
M\$/US\$レート	3.0345	2.9635

橋本健一郎氏の4月銅スクラップレポート及び5月見通し

■概況：前半は2月の独鉄工業生産が+0.5%と予測の+0.3%を上回った事による欧州懸念の後退やチリ、コデルコの労働スト入りなどのプラス材料もあったが3月のFOMC議事録で数名が金融緩和の終了時期について2013年を想定しているとの報道やADP雇用統計の悪化などの米経済指標の不調を嫌気し、7510ドル(セツル)と前月最終価格より32ドル下げての前半締めとなった。

後半は米新築住宅着工件数が+7%、鉄工業生産が+0.4%と共に予測を上回った事や、ECBの利下げ観測など好材料もあったがボストンマラソンの爆破事件によるセンチメントの悪化やキプロスの金保有資産売却に伴う1400ドル割れなどのマイナス材料から一時6800台まで下落した。ただGW明けの5月7日現在、ECBの利下げ観測や米週間失業保険申請件数の減少、4月の雇用統計で失業率が7.5%と前回より0.1%改善したことを好感し下げ幅を抑え、前半締めから388ドル暴落の7122ドル、建値77万円のスタートとなった。

■前月の経済指標：日本自動車工業会によると自動車生産台数は前年比-16.4%の82万3145台であった。日本自動車販売協会連合会による

と自動車販売台数(軽除く)は前年比+2%の21万3165台。国土交通省統計によると新設住宅着工戸数は前年比+7.3%の7万1456戸であった。次に貿易関連指標を見ると、財務省貿易統計によると輸出は前年比で電気銅が+23%の7万1千トン、スクラップが-14.2%の3万845トン。輸入は電気銅が前年比-57.5%の1618トン、スクラップが-18.2%の5850トン。また前月の国内指標を見ると、日本伸銅協会発表の伸銅品生産推移(速報)によれば前年比-5.3%の6万3480トン。日本

	1月	2月	3月
生産台数	75万4054台	86万8194台	82万3145台
前年比	-9.9%	-15.1%	-16.4%
	2月	3月	4月
販売台数	29万2453台	42万69台	21万3165台
前年比	-12.2%	-15.6%	+2%
	1月	2月	3月
新設住宅着工数	6万9289戸	6万8969戸	7万1456戸
前年比	+5%	+3%	+7.3%

耐トラッキングプラグ

トラッキング対策電源プラグ



「安心・安全を追求する。」
行田電線のこだわりが、家庭内でのプラグ火災事故を未然に防ぐ。
耐トラッキングプラグを開発しました。

ここが違う



- ① 両刃充電部の沿面距離をより長くしてトラッキング火災を防ぐ絶縁構造
- ② コンセントへの差し込みが不完全な状態の場合の感電防止設計。



行田電線株式会社

http://www.yukita.co.jp/

本社：大阪市城東区古市1丁目2番11号 電話：06-7520-7330
 東京支店：東京都新宿区西新宿7丁目16番13号 電話：03-3354-2821
 大阪支店：大阪府大阪市東淀川区西中島2丁目2番28号 電話：06-7520-7330

電線工業会発表の出荷速報(推定)によれば、前年比-1.4%の5万9100トンであった。

■見通し:4月は米経済後退懸念に足を引っ張られた月となった。FOMC議事録で金融緩和の終了時期について2013年を想定しているとの報道やADP雇用統計の悪化、ボストンマラソン爆破事件によるセンチメントの悪化のため。また直近の米週間失業保険申請件数の減少、4月の雇用統計で失業率が7.5%と前回より0.1%改善したことから下げ幅は抑えられたものの今後の米経済指標に注目。

自動車生産は前年比-16.4%2桁悪化の7カ月連続マイナス。輸出向け、国内共に2桁悪化。販売の方は前年比+2%とようやく回復の兆しか。新設住宅着工戸数は先月に続き7カ月連続増加、前年比+7%(前月比(季節調整済み)-4.3%)の7万1456戸。唯一堅調な住宅関連。消費税アップ前の駆け込みなど今後の動向に注目。伸銅品生産量は前年比-5.3%の6万3480トンと5カ月連続マイナス。リーマンショック以来の低水準。銅電線出荷量は前年比-1.4%の5万5760トンと4カ月連続マイナス。このうち建設、電販は+4.5%の11カ月連続プラス。自動車は-17%の7カ月連続マイナス。自動車の減少幅の拡大が影響したとの見解。

輸出に関しては、電気銅輸出が前年比+23%の7万1,000トンと大幅増加。銅スクラップは-14.2%の3万845トン。前月に続き、円安や自動車関連部品などの国内生産減少のため、輸出に向けられた影響との見解。輸入は電気銅が-57.5%の1618トン。スクラップは-18.2%の5850トン。やはり前月に続き内需の弱さや大幅な

円安による割高感から大幅減少。

銅需要に関して住宅関連は堅調なもの、今だ自動車は生産の先行きが不透明。ただ4月の国内販売台数がようやく前年比で+2%と改善してきたことからアベノミクスによる新年度需要の増加なども期待できメーカーは買い気配になるのでは。銅価格に関しては先月に続き、米中の経済指標に一喜一憂する事が予測される。米金融政策に関しては金融緩和の早期終了観測が遠のいたもの週間失業保険申請件数や雇用統計、ADP雇用者数が全て良い可能性は現在では低い。また過剰流動性資金が先月に続き、現在は株、国債、通貨に流れておりコモディティ(商品)への流入がみられないことから上値は3月後半高値付近の7600ドルを予測。下値は米経済指標の悪化から暴落したものの6800ドル台での下値の堅さを確認したとの判断から7000ドルを予測。銅建値に関しては73-79万円程度と予測している。

製造並びに販売

L N □ 出し線 N N F F ゴム平行 ポリエステル線 絶縁材料一式	テフロン電線 ノーメックス巻線 ガラス巻線・綿巻線 錫引線・ビニル線 耐熱ビニル線 銅編組線
--	---



田中電線

本社 大阪市福島区海老江1丁目2番20号
 TEL (06) 6458-3561(代)
 東京営業所 東京都港区芝浦1丁目9番5号
 TEL (03) 3455-0651(代)

輸出	1月	2月	3月	輸入	1月	2月	3月
電気銅	4万6323t	5万6285t	7万1千t	電気銅	2123t	1422t	1618t
前年比	+65.1%	+19.7%	+23%	前年比	-43.6%	+11.8%	-57.5%
スクラップ	2万3477t	2万3956t	3万845t	スクラップ	5339t	5431t	5850t
前年比	+74.1%	-9.5%	-14.2%	前年比	-15.1%	-14%	-18.2%

